

# 幼稚園の日々

## たたずむ場、休む時

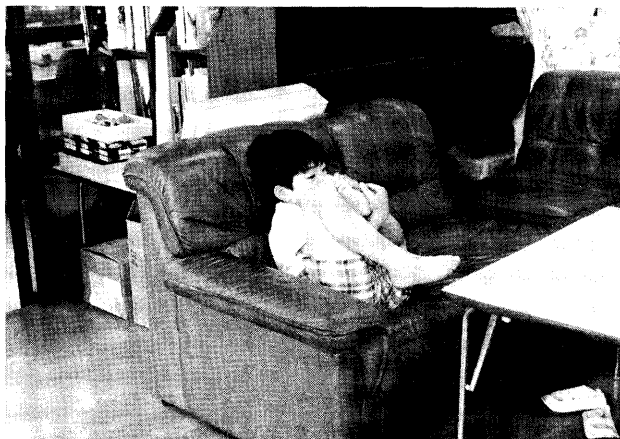
幼稚園での発見と探索と関わりという積極性の合間に、ぼんやりして眺めたりもする。退屈そうであったり、疲れを癒したりしている。生き生きした動きに移る前にこれからすることを探しているのか、単に身体を休めているのか。興味深いものを見だして、思わず見入っているのか。いつかやってみたいなあと思いつつ、心に留めているのかもしれない。集中は拡散と沈滞の裏側である。熱意は退屈と一体だ。ぼんやりすることが次の集中をいかに用意するのか。幼稚園の環境の広がりはその用意を密かに企んでいる。その企みを子どもはいかに自分のものとするのか



◀きれいだなあ。それとも自然の不思議さに見入っている？



▶ベンチでひなたぼっこ。何もやることがないときに、ここに座って他の子の遊びを眺めたりしている。



◀ 応接室のソファはごろんと休む場にもなっている。



▶ 三歳児が二階からホールをのぞいている。



◀ ホール前のテラスでぼーっとしている。

写真・樋口早百合  
解説・無藤 隆  
協力・目白幼稚園